

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【中島小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題> 国語の「言語」に関する事項、算数の「図形」に関する事項に課題が見られる。</p> <p><指導上の課題> 生活の中でさまざまな言葉に触れ、使う機会が少ない。また、図形を視覚的に捉える訓練が十分ではない。</p>	<p>⇒</p> <p>■基礎的・基本的な学習内容(計算・漢字・作文)の反復を家庭学習と連携しながら、推進する。【学年×10分】</p> <p>■視覚的な効果を発揮させた全ての児童に分かりやすい授業を展開できるように指導の充実を図る。【国・算を中心にすべての授業で実施する】</p>
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> 言葉の特徴や使い方に関する事項、平面で表現された図形を立体的に捉える事項に課題が見られる。</p> <p><指導上の課題> 学習進度や言語の経験など個人差があり、指導が難しい。</p>	<p>⇒</p> <p>■具体物操作やICTの活用により、課題を多角的に捉える機会を多く設定する。【効果的な活用方法を校内で検討する】</p> <p>■学習の振り返りなどを通じ、児童の学習進度を把握し、指導の充実に役立てる。【効果的な活用方法を校内で検討する】</p>

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	前年度までに学習にICTを積極的に活用した授業が展開されており、ICTに関する児童の関心が高く、それに伴って情報の扱いに関する事項の結果が高くなっている。国語では漢字や言語といった基礎的な学力が高い。一方で、選択式や短答式に比べ記述式の正答率が下がっており、自分の考えを文章に表す力に課題がみられる。算数では、基礎的な学力が身に付いている。ただ、速さと時間や表とグラフといった一部の学習内容で課題がみられた。	
思考・判断・表現	国語では、文章から人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる問には課題がみられる。児童質問紙では読書時間が短い傾向が現れており、課題との関連が考えられる。算数では、速さと時間の関係や表とグラフなど複数の情報から問題の意図を読み取り、解答を考える問に課題がみられる。また、設問後半で無回答率が上がっていることから、設定された時間内に問題を終えることができなかったという状況が考えられる。	

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	<p>自校で作成した「家庭学習の手引き」を学校だけでなく懇談会で家庭へ周知を行ったり、高学年を中心とした「自主学習」の取組を推奨したりしている。そのため、多くの児童が基礎的な学習内容の反復練習に取り組み、学力の定着が図られている。</p>	変更なし
思考・判断・表現	B	<p>ICT機器の活用は、児童の関心が高い。引き続き活用を推進し、効果的な学習の展開を図る。また、児童が学習の振り返りをもとに、自身の学習進度に合わせた学習内容を選択して進める学習を推進する。</p>	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)